



## 商品に関して

**Q1. シルクプラスター（アートデザイン／ヴェルサイユ）の原材料は何ですか？**

- A. 繊維（シルク、セルロース、紡織）、天然ミネラル添加剤（バインダー）から作られております。アートデザインは紡織繊維（カーペットなどに使われる）ヴェルサイユはシルク繊維+金属糸が入っています。
- 水を入れる事で、天然ミネラル添加剤が溶けて、繊維に馴染むようになります。
- VOCフリーのエコ商品としてヨーロッパでは最高ランクの賞を受賞しています。

**Q2. アートデザインにシルク（蚕繊維）は含まれていますか？**

- A. アートデザインシリーズには、シルク（蚕繊維）は含まれておりません。
- Q1記載通りの紡織繊維（カーペットなどの繊維）が主原材料となります。ヴェルサイユシリーズにはシルク繊維が含まれております。

**Q3. 繊維壁との違いは何ですか？**

- A. 繊維壁は1950年代に主に室内の壁や天井に用いられる左官仕上げ材料の一種です。
- 主原料はパルプや紙の綿状繊維、木紛などの粒状物を糸状にしたもの、無機質材料を混入したものなどがあり、土壁状や砂壁状などのソフトな肌合いを持った内装仕上げ材。
- 施工が容易なため、当時は急速に普及した内装仕上げ材。
- シルクプラスターは繊維壁の進化版といったところです。デザインはヨーロッパならではのカラーバリエーションでフェルトやファブリックのようなモコモコ感、金属繊維のキラキラ感を表現できるのがシルクプラスターです、

**Q4. 繊維壁はポロボロ落ちてくるクレームが多く市場から消えていったのですが・・・**

- A. シルクプラスターの商品はR&Dで常に商品改良・テストを続けております。シルクプラスターのどのブランドの商品もUV耐候性・耐久性がある品質で、シルクプラスター自体が不可抗力以外で剥がれる事はありません。

**Q5. シルクプラスター社について教えてください。**

- A. シルクプラスター社は東欧バルト三国の一つのラトビアの首都リガにあるメーカーです。
- 創立は1997年。ヨーロッパ全域に販売代理店を持っており、北米・オーストラリア・中東・南米にも代理店があるため、ワールドワイドな展開をしております。日本では2020年から販売開始を始めております。

**Q6. シルクプラスターの主な特徴って何ですか？**

- A. シルクプラスターは日本では馴染みのない「リキッドウォールペーパー」という市場の商品です。日本で販売しているブランドはアートデザインとヴェルサイユという2つのブランドですが、20種類以上の様々なブランドを展開しております。
- ヨーロッパではDIY市場に展開しております。水を入れて混ぜる事で簡単に施工が可能です。塗料や塗り壁材のように臭いが無く、割れなども目立ちにくい事、壁紙のようなジョイントも発生しないので、塗り壁と壁紙の利点をあわせた商材です。

**Q7. 調湿性・消臭性はありますか？**

- A. シルクプラスターは繊維が原材料のため調湿性能はありません。
- 日本ではまだ未実験ですが、ラトビアでは防音テストの実験データがあります。

**Q8. アートデザインは「ほこり」が付着しそうですが大丈夫ですか？**

- A. ほこりの発生の要因は静電気が発生してほこりが付着します。シルクプラスター社のすべての商品は静電気が帯電しないように、材料が帯電防止になっているためほこりが付きにくいです。

**Q9. ヴェルサイユ2の表面の金属繊維が手で擦ると取れてくるのですが？**

- A. ヴェルサイユ2は施工後に専用のニス材を塗布する事が必要です。ニス材を塗布する事によって繊維のほつれを防止します。

**Q10. ヴェルサイユ2専用ニスは何のためにありますか？**

- A. ヴェルサイユ2（金属繊維）は施工後、金属繊維がポロポロほつれてきます。
- 専用ニスはそのほつれを防ぐため+外部ダメージから保護するために塗布します。
- 壁面全体に加圧式ハンドスプレー（霧状噴射できるタイプ）を使って塗布してください。
- 塗布しながら、刷毛や専用コテで押さえるようにしてください。
- 又、専用ニスはヴェルサイユ2（V1101～V1130）のみに使用します。
- ヴェルサイユ（V101～V160）には使用しません。

**Q11. シルクプラスターの欠点は何ですか？**

- A. 原材料は繊維素材で水と混ぜて施工するため、低温・高湿度・換気不足の環境下で施工すると乾燥に非常に時間が掛かります。このような環境下では乾燥に1週間程度要する場合があります。
- 施工後はなるべく、風通しをよく通気性を確保してください。

**Q12. 余ったシルクプラスターの材料は保管できますか？**

- A. 施工後余った材料は補修用として保存することができます。
- 材料を水と混ぜているので、余った材料をラッピングのような物に塗布して乾燥させてください。
- 乾燥した材料はそのまま保存することができます。
- ※補修の際にこの乾燥させた材料を水に戻すことで使うことができます。

**Q13. シルクプラスターの施工後の仕上がりについて**

- A. アートデザイン／ヴェルサイユは専用コテを使った仕上げとなるため、施工する人によってコテムラにより表面の表情・雰囲気が変わります。  
又、陰影によっても仕上りの印象も異なります。必ずサンプルのように仕上がる訳ではございませんので予めご了承ください。

**Q14. メンテナンス（普段のお手入れ）方法について**

- A. 水に濡らして絞ったタオルや布で拭いてください。  
あまり多くの水分を含んだ布で拭くと、シルクプラスター自体が剥がれてしまう可能性があります。

**Q15. シルクプラスターは不燃認定を取得していますか？**

- A. 2021.04時点でアートデザインは**準不燃材料（10分）**の依頼試験がクリアしております。  
シルクプラスター単体では準不燃認定を取得できないため、不燃溶剤を使用します。  
ヴェルサイユは試験途中ですが、5月くらいには結果判明する予定です。

**Q16. シルクプラスターのシックハウス対策はどうなっていますか？**

- A. VOCフリーのエコ商材としてヨーロッパでは最高ランクの賞を受賞しています。  
アートデザインはF★★★★、ヴェルサイユはF★★★です。

**施工に関して****Q1. 施工／使用上の注意点について**

- A. ・施工可能な下地は無機質なボード（せっこうボード・コンクリート・無機塗料等）です。  
・木下地（ベニヤなど）に施工の場合はアク留め処理をしてからプライマーを塗布してください。  
・室温が8℃以下の場合は施工できません。冬期間など日中夜を通して8℃以下の場合は施工できません。  
・屋外は施工できません。室内でも水が直接掛かる場所（お風呂・シャワールーム等）では施工できません。  
・材料は一度、水を混ぜた場合で余った場合は、フィルム等に塗布して乾燥させて保管してください。水を含んだままタッパー等で保管しても材料が分離して水が腐敗してしまいます。

**Q2. アート・デザイン／ヴェルサイユは素人でも施工できますか？**

- A. プライマーを塗布する前の下地が問題なければ、一般の方でも施工できます。  
プライマーはホームセンター等で売っているローラーを使い、アートデザイン／ヴェルサイユは専用コテを使います。塗装屋さんやクロス屋さんなどの職人さんが仕上げる方がキレイに仕上がりますが、素人の方でも慣れると施工ができます。

**Q2. アート・デザイン／ヴェルサイユを石膏ボードに施工の際、プライマーは必要ですか？**

A. 必要です。

色が薄いアートデザイン／ヴェルサイユの場合、プライマーを塗布しないと石膏ボードの色が透けて見えてきますので、プライマーは必ず塗布してください。

特にプライマーは面で均一になるように塗布してください。プライマーのムラがあると、透けてムラが見える可能性があります。

※プライマーは2度塗りすることをお勧め致します。

**Q4. プライマーは専用プライマーでなければなりませんか？**

A. 専用プライマーで無くても構いません。

国内で販売されているカチオンシーラーでも施工可能です。

例) スズカ カチオンシーラー-EPO ホワイト色等

又、アートデザイン／ヴェルサイユの仕上材と近似色のシーラーを使うとより綺麗に仕上がります。

**Q5. シルクプラスター（アートデザイン／ヴェルサイユ）の施工は専用コテでなければなりませんか？**

A. 市販されているコテでも施工は可能ですが、シルクプラスター専用コテを使ったほうが早く仕上がり、またキレイに仕上がりますので、専用コテをお使いください。

**Q6. アートデザインがなかなか乾燥しないのですが・・・**

A. アートデザインはカーペットに水を含んだような状態になりますので、乾燥に時間を要します。

15℃以下の低温環境下、換気が悪い環境下、高湿度の環境下では乾燥が遅くなりますので、**温度・湿度に注意の上換気を良くし、乾燥を早めるために必ず送風機（扇風機）を使って乾燥させてください。**

このような環境下の場合、乾燥に1週間程要する場合があります。

常時、湿気が多い（湿度が高い）場所での施工は避けてください。

乾燥に時間を要しますと仕上げ材にカビが発生する可能性があります。

**Q7. シルクプラスターの仕上材の継ぎ足しは可能ですか？**

A. 同一面での継ぎ足しはできません。

同一面での施工はいっきに仕上げてください。施工日時が異なると境目が色ムラになる可能性があります。

**Q8. クロスの上からアートデザイン／ヴェルサイユを施工することはできますか？**

A. プライマーをクロスの上から塗布して施工できます。

既存のクロスを剥がさずに、プライマーを塗布します。クロスのデザイン・模様がある場合はプライマーデザイン・模様が見えなくなるまで塗布してください。

その後、仕上材を施工することができます。

※クロス自体が凸凹している場合、シルクプラスターの材料を多めに使いますので、材料を余分にみてください。



**Q9. 塗替え方法について**

- A. 既存のシルクプラスターに霧吹きで水を吹きかけて剥がすことは可能ですが、既存のシルクプラスターの上から新たにシルクプラスターを施工する事も可能です。